

市政を問う

一

般

質

問

第3回定例会の一般質問は、9月16日、17日の2日間行われ、12人の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご観聴いただけます。



佐々木 英徳 議員



通電火災対策について

問 地震後に停電が復旧する際、破損した電気機器から出火する通電火災は、無人住宅では初期消火が困難なため被害が拡大する恐れがある。そのため、揺れを感じて自動で電気を遮断する感震ブレーカーの普及が重要である。感震ブレーカー補助制度の導入について所見を伺う。

答 県内では感震ブレーカー設置に対し助成制度を導入してい

る自治体が昨年度時点で4つある。そのうち、購入費用の補助を実施している自治体は1つだけであるが、申請件数が少ないために補助の重点を他方に変え、本年度は予算計上はされていないという状況にある。今後は、県内に限らず周辺自治体の動向を注視しつつ、どのような形での補助、助成が有効であるかを研究するとともに、通電火災防止への啓発を続けていく。

エアコン購入の補助について

問 猛暑の常態化により熱中症リスクが高まる中、他市では高齢者や障がい者世帯等を対象にエアコン設置費補助制度を導入している。エアコンは命を守るインフラとして位置付けられる

ため、本市でも高齢者・障がい者世帯等への補助について伺う。

答 現在、市では補助を実施していないが、令和3年度に限り、新型コロナウイルス感染症対策地域創生臨時交付金を活用した高齢者世帯エアコン購入費助成事業を実施した経緯がある。この補助事業の効果を改めて検証するほか、先進自治体の補助内容、対象者、また購入補助に限らない他の経済的支援の在り方なども含めて多面的に研究し、検討ていきたい。

